

特別講演 1

「HIF-PH 阻害薬をどう使いこなすか

～Roxadustat への期待～

埼玉医科大学総合診療内科 教授

中元 秀友 先生

世界初の HIF-PH 阻害薬のロキサデュスタットは、「内因性 EPO の産生」と「鉄利用の亢進」という機序により、赤血球産生を増加させることから、生理的な造血により Hb の改善、腎性貧血治療を行うことが可能である。

ロキサデュスタットは 2019 年 11 月に発売されてから、間もなく 2 年が経過し、市販後の有効性・安全性や海外での大規模データが発表され、薬剤特性がより明らかになってきた。

長年、従来 of 既存薬で治療されてきた中、この新規作用機序である薬剤は我々の治療にどれほどの変化をもたらすのか？

どのようにこの薬剤を活かしていくべきなのか？ というテーマに対して、腎性貧血治療に適した薬物療法を考える機会としたい。